

グローバル 人権方針

2023年3月



ゾエティスの目的は、アニマルヘルスを発展させていくことで、世界の人々の生活を育んでいくことです。この目的達成を目指すうえで指針となるのが、「常に正しいことを行う」をはじめとする当社の5つのコアビリーフです。このコアビリーフは、社会的責任に対する当社の強いコミットメントの基盤です。コアビリーフ、およびコアビリーフの実践方法について社員、役員、取締役求められる行動に関する詳細は、[行動規範](#)をご覧ください。

私たちは、アニマルヘルスは健康な未来に不可欠であるという理念のもと、動物、人、そして地球にとってより良い世界をつくるべく取り組んでいます。「ケアの推進」の3つの柱である「[地域社会](#)、[動物](#)、[地球](#)」に沿ったサステナビリティへの取り組みについての詳細は、当社ウェブサイトの[サステナビリティ](#)セクションをご覧ください。このページには、最新のサステナビリティレポートも掲載されています。

アニマルヘルス業界のグローバルリーダーとして、当社には人権擁護にプラスの影響を与える機会があると考えています。当社は、すべての人の人権と尊厳を尊重することにひたむきに取り組み、人権を促進し擁護する活動を支援しています。当社は、当社の業務またはサプライチェーンにおける人権侵害を許容しません。また、当社の業務とサプライチェーンにおける人権侵害のリスクを特定し、軽減することを目的とした方針と手順の実施に尽力しています。

本方針はゾエティスと世界各地の全社員に適用されます。さらに、当社のサプライチェーンの全当事者は、[サプライヤー行動原則](#)と[サプライヤーの行動指針に関する声明](#)に規定されるとおり、責任ある倫理的な方法で事業を運営し、人権を尊重することが求められます。当社の社員には、本方針とその実施を支えるその他の社内方針と手順も適用されます。

現代奴隷制

ゾエティスは、強制労働、児童労働、奴隷制、人身売買を含む、あらゆる形態の現代奴隷制を一切容認しない方針（ゼロトランス方針）を運用しています。サプライヤーには、サプライヤーとの標準契約により、現代奴隷法を含むすべての適用法を遵守することを義務付けています。現代奴隷制に対する当社の見解、および当社の業務とサプライチェーンにおける現代奴隷制のリスクを軽減するために講じている対策の詳細については、[現代奴隷制に関する声明](#)をご覧ください。

職場での敬意

当社は、インクルーシブで嫌がらせや差別の恐れが一切ない職場を提供する方針を採用しています。ゾエティスは、全社員を公平に扱い、違いを認めて尊重し、率直なコミュニケーションを奨励し、エンパワーメントと協力の文化を促進しています。ゾエティスは、結社の自由と団体交渉権の効果的な承認を確約しています。

ゾエティスは平等な雇用機会の提供に全力を尽くし、人種、肌の色、民族、信条、先祖、宗教、性別、性的指向、年齢、性自認・性別表現、国籍、婚姻区分、妊娠・出産またはそれに関連する医学的状態、遺伝子情報、兵役、身体疾患（州法・現地法により定義）、精神・身体障害の有無またはその認識、軍役経験、または適用法で保護されるその他の個人的特徴に基づく差別や嫌がらせを禁止しています。ゾエティスは、脅迫行為、およびあらゆる形態の性的嫌がらせやいじめを禁止しています。当社は、適用される雇用、労働、移民に関するすべての要件を遵守します。

安全衛生

ゾエティスでは安全は常に最優先事項です。そのため、互いに気を配り、社員、請負業者、訪問者の安全を確保しています。当社は、安全でないと感じた場合に業務を停止する権利と責任が全員にあると考えています。ゾエティスは、身体的か口頭かを問わず他の人を脅迫または威嚇する行為、器物破壊行為、放火、その他の犯罪活動など、あらゆる形態の暴力を許容しません。安全衛生に関する当社の指針の詳細については、[行動規範](#)の安全衛生セクション（13ページ）をご覧ください。

プライバシー権

ゾエティスは、社員のプライバシーだけでなく、当社と取引を行う他者のプライバシーも尊重しています。当社に個人情報を委託する個人のプライバシーを尊重することは、ゾエティスの最重要事項です。当社の方針は、適用法に従い、責任ある形で個人情報を収集、利用、共有することを目的に策定されています。プライバシーに関する当社の指針の詳細については、[行動規範](#)の個人情報の保護セクション（14ページ）をご覧ください。

動物のケアおよび福祉／抗生物質の責任ある使用

当社は、画期的な医薬品や治療法の発見と開発を通じて、動物が健康に長生きできるための手助けをすることに力を注いでいます。製薬業界における動物を使用した研究は、創薬、評価、規制といったプロセスにおいて、今もなおきわめて重要な要素であり、世界中の動物たちの命を救い、生活の質を向上させる製品の開発につながっています。当社は、使用する動物の数を今後減らしていくことを目指し、規制当局が許可し、患畜の安全や当社の医薬品の効果を損なわない、科学的に実証された代替試験方法の開発と使用に全力を注いでいます。

当社は、動物と人に対する抗生物質の責任ある使用を支持します。現在、動物の生命を脅かす細菌感染症の代替治療法はほとんどないため、抗生物質は動物の健康、さらには動物の福祉に必要な不可欠です。動物への抗生物質の責任ある使用に対する当社のコミットメントの一環として、当社は、動物の成長促進目的で医学的に重要な抗生物質（米国食品医薬品局の分類による）を世界のいずれの地域でも販売しません。

動物のケアと福祉、および抗生物質の責任ある使用に関する当社の指針の詳細については、[動物のケアと福祉に関する方針](#)および[動物に対する抗生物質の責任ある使用に関する指針](#)をご覧ください。

ガバナンス

本グローバル人権方針は、コンプライアンス、法務、サステナビリティ、コミュニケーションおよびコーポレートアフェアーズなど、部門を超えたさまざまな社員グループからの情報に基づき、コーポレートガバナンスチームによって策定され、全経営陣から全面的な支持を得ています。本方針の遵守を含む人権の監視についてはコンプライアンスチームが、人権と本方針に対する戦略的なインサイトの提供についてはサステナビリティに関する報告および開示運営委員会が、取締役会レベルでの人権の監視についてはコーポレートガバナンスおよびサステナビリティ委員会がそれぞれ責任を負っています。ゾエティスは、全世界の社員、顧客、ステークホルダーの変化するニーズを確実に満たすように、本方針を定期的に見直します。

報告

ゾエティスは、懸念や質問が提起され適切に対応されるよう、オープンドア方針を採用しています。当社は、善意に基づいて実際の侵害または侵害の可能性に関する懸念を表明する社員を対象としたあらゆる形の報復を一切容認しません。ゾエティスの業務やサプライチェーンにおける人権侵害の疑いや証拠は、法務部 (legal@zoetis.com または 973-822-7000) に報告するか、コンプライアンスヘルプライン (compliance@zoetis.com または 1-855-322-9944) を通じて報告してください。ゾエティスコンプライアンスヘルプラインでは、懸念を匿名で報告することもできます。コンプライアンスヘルプラインには電話またはオンライン (ウェブ通報ツール経由) で通報できます。年中無休の24時間体制で、70か国語に対応しています。コンプライアンスヘルプラインは、特別に訓練を受けた第三者の担当者を通報窓口としています。

- コンプライアンスヘルプラインの電話番号* (米国およびカナダ) : 1.855.322.9944
* 米国およびカナダ以外のコンプライアンスヘルプラインの電話番号については、[こちらをクリック](#)してください。
- コンプライアンスヘルプラインのウェブ通報ツール : <http://zoetis.ethicspoint.com>